

事務事業評価表 平成24年度

政策 明日につながる産業の振興
 施策 商業の振興
 基本事業 観光・イベントによる賑わいの創造

事業名 **地域プロモーション推進事業**

[0988]

部名	経済部	事業開始年度	平成23年度	実施計画事業認定	非対象
課名	商工労働課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	(誰、何に対して事業を行うのか) ・江別観光協会 ・周辺市町村
意図	(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) 観光情報の発信や観光客の誘致に努め、江別市の知名度向上を図り観光客の市内への入り込み数を増やす。
手段	(事務事業の内容、やり方、手段) ・江別 PRに係る派遣補助 ・観光ルートマップの作成 ・地域プロモーション広告掲載事業

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度当初
対象指標1	江別観光協会会員数	会員			168	0
対象指標2	周辺市町村数	市町村			8	8
活動指標1	補助対象事案件数	件			3	0
活動指標2	観光ルートマップ作成部数	部			20,000	25,000
成果指標1	観光入込客数	人			749,900	800,000
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	0	0	2,191	1,759
正職員人件費 (B)		千円	0	0	803	2,428
総事業費 (A) + (B)		千円	0	0	2,994	4,187

費用内訳	
23年度	役務費 60千円、委託料 2,037千円、負担金 補助及び交付金 94千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始
背景

事業を
取り巻く
環境変化

23年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業
妥当である
妥当性が低い

理由・
根拠は？

賑わいの創造は、様々な活性化につながるため、その点では妥当。大規模観光産業がない当市においては、行政がサポートすることもやむを得ない。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい
貢献度ふつう
貢献度小さい
基礎的事務事業

理由・
根拠は？

従来型の観光資源に乏しい当市ではおのずと限界があるため。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？

あがっている
どちらかといえばあがっている
あがらない

理由・
根拠は？

行政が市外でのプロモーションに関わることで、市内企業の市外販売での機会が設けられ、地域のプロモーションにも繋がっている。また、観光ルートマップ作成や広告掲載により、江別へ足を運ぶきっかけ作りを行ない、江別市の知名度向上にも寄与している。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大
成果向上余地 中
成果向上余地 小・なし

理由・
根拠は？

現状では江別を知らない人もまだまだ多く、江別市の知名度向上や市内への入込客数を増加する余地は多大にある。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある
ない

理由・
根拠は？

大規模観光産業がない当市においては、行政がサポートすることもやむを得ず、現状ではイベントや冊子、広告を利用した地域プロモーションを地道におこなっていく必要がある段階である。